

2015年4月20日

ゴールドリボン運動の支援団体に寄付金を贈呈

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長：山内 裕司）はこのたび、小児がんの治癒率向上及び小児がんと闘う子どもたちへの理解促進などを目的とした「ゴールドリボン運動」を一層推進するため、小児がんの支援団体に寄付金（総額：1,494万781円）を贈呈しました。

ゴールドリボンは、小児がんと闘う子どもたちへの支援を表すシンボルマークです。当社は2006年に日本で初めて企業としてゴールドリボン運動に賛同しました。それ以来、社員やアソシエイツ（販売代理店）による寄付や、独自のチャリティグッズの販売、ウオーキングイベントへの協賛等を通じて継続的な支援を行っています。

2015年も引き続き同運動を推進するため、2014年1月から12月の間に、「ワンハンドレッドクラブ（※）」により集められた寄付金（1,437万5,400円）と、アフラック社員やアソシエイツが購入した「ゴールドリボングッズ」（下記参照）の売上げの一部（56万5,381円）を「認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク」に贈呈しました。

※ ワンハンドレッドクラブ：アフラック独自の寄付集めの仕組み。社員から給与天引きによって寄付（1口100円、口数は任意）を募り、集まった金額の同額を会社がマッチングし、寄付を行う取り組み。

■寄付金総額：1,494万781円（2014年の寄付金活動分）

■贈呈先：

団体名	活動内容
認定NPO法人 ゴールドリボン・ネットワーク	ゴールドリボン運動を通じて、小児がんの治癒率向上、小児がんと闘う子どもたちのQOL（“生活の質”の意）向上、小児がんと闘う子どもたちへの理解促進等を目的として、2008年6月に設立された団体。 4月25日（4：しょう、2：にがん、5：ゴールドリボン）を「小児がんゴールドリボンの日」として制定し、小児がんの子どもたちが安心して、笑顔で生活できる社会の創造に役立っていきたいという想いで活動している。

<参考>ゴールドリボングッズ（主なもの）：



ゴールドリボンバッジ



ゴールドリボンダック

当社は、多くの方々の「生きる」を創る保険会社として、社会における課題の解決と持続的な成長をめざし、社会と共有できる価値の創造（CSV*経営）に努めていきます。

※ CSV: Creating Shared Value